

## 鴨居 玲 展 -Camoyの生きざま-

2021年5月22日（土）～7月18日（日）

[前期：～6月10日 後期：6月11日～]

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

### ■ 開催趣旨

北國新聞社主筆であった鴨居悠（ゆう）と茂代（もよ）の間に生まれた鴨居玲。玲には、兄・明（あきら）と姉・羊子（ようこ、本名・洋子）がいました。悠は1945年、敗戦の日に社説を書き、「石川県は文化芸術で生きる」をスローガンに活動を始めます。3日後には、社内で「石川県美術館新設発起の会」を開き、その後も「文化で国をたてるしか道はない」と言い続けたといひます。兄・明は建築家を目指していましたが、南方戦線にて戦死。また、姉・羊子は新聞記者を経たのち、下着デザイナーとして戦後の女性に大きな影響を与え、また画家として活躍しました。本展覧会では、初期から最晩年にいたる作品に加え、初公開となる資料も展示し、鴨居玲の人物像に迫ります。



① ※後期のみ



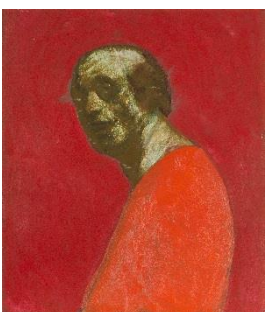
②



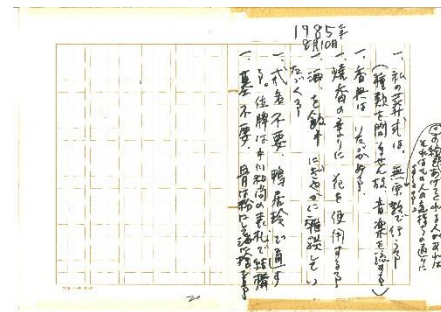
③



④



⑤ ※後期のみ



⑥



⑦

① 夜（自画像）1947年 ② 踊り候え 1974-75年（個人蔵） ③ 教会 1976年 ④ 私の村の酔っぱらい(A) 1973年

⑤ 自画像（絶筆）1985年 ⑥ 自死の一月前に書いた遺言 ⑦ 鴨居羊子《用心棒もしくはヒモ》1983年

### ■ 展覧会概要

- ・展覧会名 鴨居 玲 展 -Camoyの生きざま-
- ・会 期 2021年5月22日（土）～7月18日（日）

- ・会場 笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間 978-4）
- ・開館時間 午前 9 時 30 分より午後 5 時（入館受付は午後 4 時 30 分まで）
- ・休館日 毎週月曜日
- ・入館料 大人 1000 円、65 歳以上 800 円、大学・高校生 700 円、中学以下無料、  
春風萬里荘（北大路魯山人旧居）の割引：当日の美術館チケットをお持ちの方は、  
200 円割引（中小生は 100 円）にてご入館いただけます。割引：20 名以上の団体は 200  
円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は各半額割引。
- ・主催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／茨城新聞社／  
朝日新聞水戸総局／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞社水戸支局／  
読売新聞水戸支局／NHK 水戸放送局

## ■ 出品内容

笠間日動美術館所蔵約 40 点の鴨居玲作品及び資料多数。鴨居羊子作品 8 点及び資料。鴨居悠  
関連の資料など。「鴨居玲の部屋」に愛用品など多数展示。

## ■ 会期中のイベント

5 月 22 日（土）14：00～

対談会「鴨居玲と姉 羊子」講師：当館館長 長谷川徳七 同副館長 長谷川智恵子

ギャラリートーク 各日 14：00～（約 30 分）

6 月 12 日（土）/7 月 17 日（土）

## ■ 交通案内

- [JR 利用] ・常磐線友部駅北口より『かさま観光周遊バス』（9:55/10:50/11:50 発）で 15 分  
「日動美術館」下車後、徒歩 1 分（1 回乗車につき 100 円/1 日フリー乗車券 300 円）
- ・水戸線笠間駅より徒歩約 30 分、レンタサイクル約 10 分
  - または市内循環バスで約 15 分「日動美術館入口」下車徒歩 2 分

- [自動車利用] ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

- [高速バス利用] ・『関東やきものライナー』\*現在、一部運行中  
秋葉原駅中央改札口前、東口交通広場 8 時 20 分発で約 2 時間  
「笠間稲荷神社入口」下車徒歩 5 分  
\*座席予約制（空席がある場合は予約無しで乗車可）、片道 1650 円、往復 2900 円

- 問い合わせ先（担当：亀山／川崎） 309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館  
Mail k-museum@nichido-museum.or.jp TEL 0296-72-2160 Fax 0297-72-5655